# 輪之内町道路橋長寿命化修繕計画

令和２年３月　策定
令和５年３月　改定
令和６年１２月　改定
令和７年３月　改定
令和８年４月　改定
令和８年８月　改定
令和８年１０月　改定

## １　長寿命化修繕計画策定の目的

### １）背景

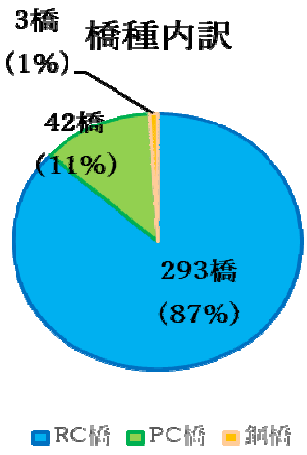
・輪之内町が管理する道路橋は現在 338 橋あり、供用開始後の年数から高齢化橋梁が増大する。
・このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

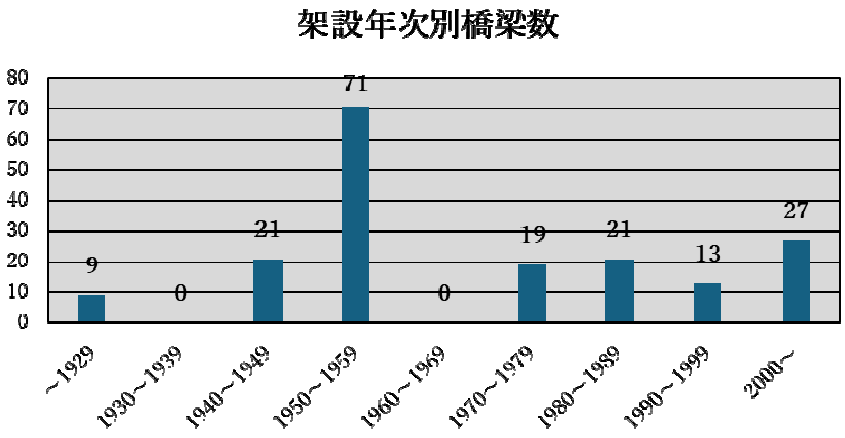
### ２）目的

・道路交通の安全性を確保するために、これまでの対処療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、橋梁の長寿命化及びコスト縮減を図る。
・地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

## ２　長寿命化修繕計画の対象橋梁

| | 橋長15m以上 | 橋長15m未満 | 計 |
|---|---|---|---|
| 全管理橋梁数 | 4 | 334 | 338 |
| うち計画の対象橋梁数 | 4 | 334 | 338 |




※338 橋のうち 157 橋は架設年度が不明

## ３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

### １）健全度把握の基本的な方針

岐阜県橋梁点検マニュアルに基づいて定期的な点検を実施し、橋梁の健全性を把握する。

維持管理に係わるコスト縮減等に取り組むため、5%の橋梁に対して「岐阜県点検支援技術活用の手引き」や国土交通省の「点検支援技術性能カタログ」に記載されている新技術や新技術情報提供システム（NETIS）の登録技術等の活用を目指す。

### ２）日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロールを実施し、劣化損傷の把握に努める。

## ４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針を行うことにより、予防的な修繕等の実施を徹底する。このことにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、コストの縮減を図る。

新技術や新工法を積極的に活用し、修繕費用の縮減や再劣化の抑制を図る。短期目標として、令和１１年度までに修繕を行う橋梁のうち、５橋に対し新技術を活用し、修繕費を０．５百万円程度縮減することを目指す。

また、点検結果や利用状況を踏まえ、代替可能な老朽化した橋梁に対し、集約に伴う撤去を検討するとともに、通行を歩行者に限定するなどの機能縮小についての検討を行い、令和１１年度までに１橋を集約・撤去し、維持管理にかかる費用を２百万円程度縮減することを目指す。

## ５　対象橋梁ごとの概ねの修繕内容・時期又は架替え時期

今後 10 年間の計画は、別紙計画表の通り。

## ６　計画策定担当部署

輪之内町役場　建設課